

ほほえみ通信 第44号

グループホーム くりの

平成29年7月発行

始良郡湧水町米永181-1

基本理念

このホームが、あなたにとって
最高の我が家となりますように
私たちが あなたにとって
真の家族となれますように

活動目標

今日も一日 笑顔で
ありがたい心が通い合う
地域社会の人々と共に
楽しい暮らしを目指します



お誕生日おめでとうございます

HAPPY BIRTHDAY!!

宮下 ハル子様 89歳

伊地知 敦子様 98歳

興辺 佐笑子様 82歳

こいのぼり見学

こっちにいっぱいいるよ

こいのぼりはどこ〜

日常生活

今日のニュースは?

ごちそう作るよ

湯いぬ

ヨカニセ

コーヒータイム

栗中生福祉体験

七夕かざり
折紙細工
楽しみました!

髪も乾かして
もらいました

梅ちぎり

高所にいる

そこにあそび

と水たよ
いっはい

ホームに働かせて頂き、7年目に入ろうとしています。働き始めた頃、元気な母も近頃、足腰が弱くなり、自分の母と入居者を重ね合わせて働かせて頂いています。何気ない昔話の中に入居者様の大変な思いをしてきた話や戦争の話をしながら「イヤだ、イヤだね」と思わず、つぶやかれる方「今は良いのよね」他の方も「そうよね」と多くを話そうとされない言葉の重みを感じます。様々な人生を過ごして来られた方々の言葉の思いに共感し感謝をもって、接していきたいと思ひます。

それぞれの思いを持たれながらホームに来て頂いていると思ひますので、穏やかに安心して生活して頂けるようにお手伝いさせて頂きたいと思ひます。

有馬 啓子

スタッフのひとこと



ホームに勤めて7年目になります。入居者様に寄り添いながら一人一人に合った介護が出来ているだろうかと思ひながら、なじみの関係を少しずつ積み重ね、日々働いています。入居者様が一人でソファに座られている時など、台所から「一緒にされませんか」と声掛けしますと「私もしていいの」とうれしそうに野菜を切ったり洗ったり、片付けまでお手伝いして下さいます。「私もまだまだ出来るわね」、「楽しかった。また一緒にしましょう」と満足げに話されます。予定の仕事もできるだけ早く終わらせると残りの時間は入居者の皆様といろいろな会話をし、一言でも多くの言葉を言ってもらおうように心掛けています。その中から一日一日を大切に、その人らしい居心地の良い場所や楽しい仕事を発見していきたいと思ひます。

今村 凜子